

希望坂(北中だより)

第7号 令和6年12月24日

みやき町立北茂安中学校

校長 古賀 健司

<https://www.education.saga.jp/hp/kitashigeyasu-j/>



学校教育目標

「夢や目標をもち

チャレンジ精神と思いやりの心に

満ちあふれた生徒の育成」



◇2学期終業式…生徒の意見発表「私のチャレンジ」◇

本日終業式を行いました。式の冒頭、各学年1名の生徒に意見発表してもらいました。

チャレンジしたことがよこびや自信をもたらしていると感じ、うれしかったです。また、支えてくれた方への感謝を伝えているのも素晴らしいと思いました。

3年生代表

私が2学期に頑張ったのは、体育大会や文化発表会の学校行事と受験勉強です。

学校行事では、最高学年として1年生と2年生のお手本になれるように練習や本番を一生懸命に取り組みました。3年生としての自覚を持ち、自分ができることはしようと思いました。

体育大会の応援リーダーにはなれなかったけれど、合唱コンクールのパートリーダーにはなりたいと思い挑戦しました。中学校最後の学校行事だからこそ今までよりも頑張りました。

そして何より一番は受験勉強です。私は今受験を目の前にして、不安な気持ちと焦る気持ちでいっぱいです。そんな気持ちを少しでもなくそうと日々勉強を頑張っています。

勉強は好きではないけれど、自分が行きたい高校にいけるように、そして後悔しなくてもいいように勉強をしています。

受験勉強は、勉強を教えてくれる先生や友達がいるからこそより頑張れている自分がいます。周りに感謝して、これからも受験勉強を頑張ります。



2年生代表

僕が2学期に頑張ったことは、部活でキャプテンとしてチームを引っ張ったことです。

2学期になって野球部のキャプテンになりました。僕は、今までチームをまとめたり、引っ張ったりした経験が一度もありません。そのため、本当に自分で良かったのかとよく不安になります。

ですが素直に動いてくれる後輩がいて、自分に協力してくれる同級生がいて、アドバイスしてくださる先生方がいるおかげで、少しだけですがキャプテンとして自信をもてるようになりました。

まだまだ実力もキャプテンとして足りない部分がたくさんありますが、助けていただいたことに感謝をしながら、自分なりに頑張っていこうと思います。



1 年生代表

私が2学期に挑戦したことは、体育大会の応援リーダーになることです。私はあまり人の前に出ることが得意ではありません。でも、周りの友達にすすめられて、みんなが自分を選んでくれてやってみることにしました。

最初は私にできるか不安だったけど、今思えばいい経験をしたと思います。先輩たちと仲良く練習したり、みんなでぎりぎりまでポンポンを作ったりと、とてもいい思い出になりました。

今まで人の前に出て目立つようなことから逃げていた面がありました。それでも、今学期勇気を出して立候補したので、自分の成長につなげることができました。この経験を生かして3学期も過ごしたいと思います。



◇「尊いもの」◇

先日、全校集会で「幸福の王子」を題材に話をしました。オスカーワイルド童話集に収められた作品で、ほとんどの生徒はこの童話を知らないようでした。あらすじは以下のとおりです。



ある町に王子が住んでいました。塀に囲まれた宮殿で楽しく暮らしました。王子は「楽しいことが幸福というなら私は幸福であった」と言います。しかし、王子は死んでしまいます。

街の人は、王子の像を町の高いところに作りました。金箔で覆われ、目にはサファイア、刀の束にも宝石の入った素晴らしい像になりました。

冬が近づいてきたある日、ツバメがその町から暖かいエジプトに向かって移動を始めます。一羽だけその町に残り、王子の像の下で寝ようとしていました。

王子は言います。「今まで見えなかった町のように隅々まで見える。病気なのに薬が買えない人、貧しい作家が寒くて小説が書けないでいる…」

ツバメは王子に頼まれて、宝石を取り出して届けたり、金箔をはがして届けたりします。街はだんだん元気になりましたが、像はボロボロになります。寒くなり、ツバメはもう移動できなくなり、像の下で死んでしまいます。

偉い人たちが来て「こんな汚い像は溶かしてしまえ。おまけに鳥の死骸まである」と言い、別の像を作るために王子の像を溶かしてしまいました。

ところが、「鉛でできた王子の像の心臓部分だけがどうしても溶けません」と職人から報告がありました。仕方なく、鉛の心臓とツバメの死骸はそのあたりに捨てられてしまいます。

(その後、素晴らしいことが起こりますが、話しませんでした。)

ここで、私が生徒に**幸福の王子が幸福だったのはいつだと思いますか？**と、以下の3択で問うと、いずれにも手が上がり、多くの生徒が理由を話してくれました。しっかりと考え発言した生徒の勇気と発言内容、また、意見をしっかりと聞き、受け止める生徒に**「尊いもの」**を感じずにはいられませんでした。一部を紹介します。

① 宮殿にいたとき

(理由) 人は生きていてこそ幸福だと思うから、
「私は幸福であった」と王子自身が言っているから

② 美しい像になったとき

(理由) 美しくなったら幸せだと思うから

③ ボロボロになったとき

(理由) 困っている人のために行動するとき、自分も幸福になれるから
(※同趣旨の意見多数)